

5 インバウンド向けサービスの拡充

インバウンドの急速な増加を受け、大手民鉄でもさまざまな取り組みを展開しています。駅の識別を容易にする各駅のナンバリング、駅構内の多言語表示、駅・車内での外国語放送、インターネット接続のためのWi-Fiの整備、外国人旅行者を対象とした企画乗車券の発売、外国語対応のできる案内所の設置、ウェブサイトの多言語対応化など、多角的に利便性の向上に努めています。さらには、外国の鉄道会社との企画乗車券やイベントでの連携、姉妹協定や友好協定などの締結により、相互誘客を図る取り組みも増えています。

また、関東エリアおよび関西エリアでは、鉄道会社共通のインバウンド向け企画乗車券を販売しています。1枚の乗車券で利用できるため、各エリア内の移動がスマートになります。

■ インバウンド向けサービスの導入状況

(2019年3月31日現在)

サービス内容		導入会社(全16社)
駅ナンバリング		全社
駅構内の多言語表示		全社
外国語放送	駅	東武、京成、京王、京急、東京メトロ、名鉄、近鉄、南海、京阪
	車内	東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、名鉄、近鉄、南海、京阪、阪神、西鉄
Wi-Fi ^(注1)	駅	全社
	車内	東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、名鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、西鉄
外国語対応の案内所		東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、名鉄、近鉄 ^(注2) 、南海、京阪、阪急、阪神、西鉄 ^(注2)
多言語対応のウェブサイト		全社

(注1) Wi-Fiは日本人向けのサービスも含む。また、有料サービスも含む。

(注2) 案内所ではなく、一部の駅で外国人案内スタッフを配置。

■ 共通企画乗車券

名称	発売価格(大人)	利用可能エリア
Greater Tokyo Pass	7,200円(3日間有効)	東武、西武、京成 ^(注) 、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、ほか
KANSAI THRU PASS	国内:4,400円、海外:4,300円(2日券) 国内:5,500円、海外:5,300円(3日券)	近鉄(一部除く)、南海、京阪、阪急、阪神、ほか

※有料特急列車、座席指定列車等を利用の場合は別途料金が必要。

(注) 京成線は乗車区間に成田スカイアクセス(京成高砂駅～成田空港駅間)を含む場合は、別途規定がある。



Greater Tokyo Pass(イメージ)



KANSAI THRU PASS(イメージ)